

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 7 日現在

機関番号：34316

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26243003

研究課題名(和文) <宗教=社会複合マッピング> からよむ大陸部東南アジア仏教徒社会の動態と変容

研究課題名(英文) Dynamics of Practices among Theravadins in Mainland Southeast Asia from an Analysis of Mapping Complexities of Religion and Society

研究代表者

林 行夫 (Hayashi, Yukio)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号：60208634

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 29,100,000円

研究成果の概要(和文)：東南アジア大陸部を主とする上座仏教徒社会での宗教実践を、寺院施設と出家行動に焦点をあてて空間移動、時系列の変化にかんするデータを収集分析し、地域間比較研究を実施した。6か国の14調査区画から寺院施設3,430、出家者の個人履歴15,241件のデータを集積し、個人の出生から出家の時空間情報を映す「得度チャート」「移動ルート」などを開発しGISを用いて情報学的なマッピングの手法によって分析し可視化を試みることでデータの包括的な理解と多面的な解釈をめざした。データはまだ整理途上にあるが、得度チャートや移動の特性を地域間比較することにより、地域ごとの実践の特徴を浮き彫りにした。

研究成果の概要(英文)：The aim of this project is to shed light on the characteristics of Buddhist practices among Theravadins in Mainland Southeast Asia, by focusing on the locations of Buddhist temples/hermitages and the movements of monks between them, which constitutes the core of the practice of Buddhists, and to undertake a comparative study of 14 areas over six countries, employing field surveys and historical materials such as statistics and official gazettes. The project has gathered a primary source of data on 3,430 temples and 15,241 monks in total. An area informatic analysis of this material has been conducted applying the GIS. The study also attempts to visualize dynamics and meaning of the data to get a comprehensive understanding and pluralistic interpretation of the microscopic data obtained from the field surveys by incorporating document data. The massive data is still being processed, but regional peculiarities are emerging from the "ordination charts" and "tracking routes" of monks' movement.

研究分野：文化人類学 東南アジア仏教徒社会史

キーワード：上座仏教 東南アジア大陸部 スリランカ 宗教実践 出家行動 寺院施設 マッピング 地域間比較

1. 研究開始当初の背景

スリランカ大寺派系パーリ仏教を伝持する大陸部東南アジアでは、寺院・仏塔の造営や出家を慣行とする「生きた仏教」が営まれてきた。現代のグローバルな社会変化のただ中で、そうした慣行はいかに持続しないし変容しているのか。その解明のためには地域ごとのミクロな定量的研究とともに、地域や国家を横断して比較できる実証的研究が必要である。本研究は2006年と07年にタイの一地域の定量調査を嚆矢とし、2008年から2010年に対象地域をカンボジア、ラオス、中国雲南省(西双版纳と徳宏)、ミャンマーに広げてきた。

2. 研究の目的

従来の上座仏教徒社会の研究は、冷戦体制が終息したのちも、一国一地域での調査研究で完結する傾向にあった。本研究は、中国雲南省(西双版纳と徳宏)をふくむ大陸部東南アジア(タイ、カンボジア、ミャンマー、ラオス)さらにスリランカを加え、寺院の造営や出家行動をはじめとする上座仏教徒社会全域における仏教実践を俯瞰し、地域間比較の観点からその地域差と同一性、変異と変容のメカニズムを解明することを目的とする。

3. 研究の方法

仏教実践の核心をなす営みとして寺院施設の立地・造営と出家者の行動(移動経歴)に焦点をあてる。両者について複数の国や地域での定量的研究は、本研究が世界初となる。ほぼ同時期に複数の国家、地域で悉皆調査を実施し、そのデータをGIS(Geographical Information System)を応用して情報学的に分析するとともにその可視化を試みる。また、統計や官報、法制度に関連する史資料を組み込み、臨地調査で得たデータの包括的な理解と多面的な解釈を試みる。施設の造営と出家行動は、時空間軸上で相互に絡めて分析できるため、寺院と出家者のネットワークの形成過程も浮き彫りにされ、実践の一端を可視化することができる。具体的には、特定地域での調査経験が豊富な専門家が適切な調査区画を決め、雨安居期に区画内の寺院を訪問し施設の建立年や設備の構成、止住する出家者が受戒得度した寺院、移動経歴や個人史を聴取する。施設のGPS測定値と出家者の過去5年から10年間に滞在した施設をマッピングし移動理由とともに記録する。全調査区画で同一仕様の質問票を用いて得られるデータを集積し、定量分析と比較を行うことで調査区画ごとの特徴をあぶりだす。本研究では2006年以來の調査で得た資料を基礎データとしつつ補足調査を実施するとともに、新たにミャンマーとスリランカで5カ所の調査区画を追加して、より精緻な比較分析を可能にするデータを収集する。全データは情報学的手法で統合し、その可視化を試みる。それによって調査対象地域全体の仏教実践の動態

の多元的な諸相を統一的に解析する。

4. 研究成果

2006年以來の継続してきた調査では5か国で計9カ所の調査区画で寺院施設2,884、出家者10,706人のデータを集積した。2014年からの本研究では、全期間を通じて既調査区画でのフォローアップサーベイのほか、スリランカとミャンマーで5区画、タイで華人系大乘仏教寺院で同様の調査を行い、寺院施設546、出家者4,535人のデータが追加された(図1=本項目末尾、以下同)。その結果、6か国にまたがる14調査区画で寺院施設3,430、出家者15,241人のデータを保蔵することになった。これらを束ねて分析するため、個人の出生から出家行動の時空間情報を映す「得度チャート」を拡充・更新した。このチャートを基礎にして以下の課題を進めた。

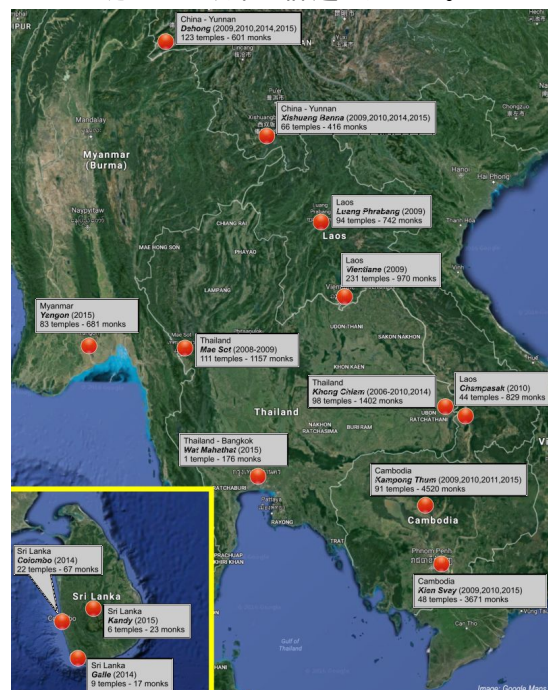


図1

A: 寺院施設・出家行動データと各国の宗教 = 地域社会の変容との相関比較

各調査地の寺院施設と移動遍歴を含む出家者の行動を中心とした時空間情報を地域社会の推移を示すデータと相関させてその経年変化の様態をパターン化した。出生から得度前後の時間を示す各地域の「得度チャート」(図2、3)は、地域社会の推移を約90年の深度をもつ個人史と対応させて分析するスケールとした。このチャートから移動経路などが明らかにされた(図4、5)。

B: 地域と宗教の社会的ネットワークに着眼した法制度・社会経済変化等のインパクト要因の抽出

さらに、寺院施設の地域を越えた繋がりや出家者の師弟関係よりなるネットワークに焦点をあて、出家や葬制パターン等で大きく二分される文化圏での宗教・教育に関する法制度の変遷、地域社会に影響を与えたと推察される政変、生業・経済変化をパラメータ化し

て双方の関わりを解析し、得度する年代や移動の範囲の変化、寺院施設が増加する時間経緯を比較した(図6)。

C: 仏教実践からみた宗教と社会の動態と変容のメカニズムの解明

A、Bの分析結果を総合して、社会文化変容の複合的な関わりで生じている各地での実践の変容、および調査地全体を通底する動態と変容のメカニズムの一般化を試みた。寺院施設と出家者の個人データの計量分析とその全体像を部分的にでも可視化することにより、大陸部東南アジア上座仏教徒の基本的な実践の異同を示した。

D: データ共有、成果の還元とアーカイブ化
2016年度に中間報告としてカンボジア王立芸術大学(プノンペン)で、調査区画全域で得たデータの公開と共有を図る国際会議を実施し、会議での議論をふまえた英文報告書を公刊した。最終年度で全調査区画のデータを通覧と検索、項目別の地域間比較を可能にする汎用データベースの構築を目指したが、諸事情(研究代表者、分担者の配置換、研究協力者の長期入院)が重なり、データを統合する情報学的なシステム構築を進展させることができなかった。地域横断的なデータ解析も頓挫したため、個別に ARCGIS での移動経路データベースの開発、収集した史資料のデジタル化、本科研に関わる旧稿を英訳してアーカイブ化する活動などを進めたが、過去のデータ集積を踏まえた最終的な総合成果は、来年度以降に漸次公開することとなった。本科研の成果は以下の2点に集約される。

1: 隣接する複数の地域で同一の宗教実践を場所(施設)と出家者の動きを、空間および時間指標において定量的にとらえ分析する地域間比較研究を推進した。

2: 臨地調査で得た一次資料と統計をはじめとする文献資料を情報学的に統合した地域社会と宗教実践の動態の可視化を試みた。

これらは、集積したデータを共有化し多面的に分析する学際的な共同研究のあり方と直結し、宗教と社会について地域を限定した従来の人類学的研究や地域研究でなしえなかった成果と新たな知見をみだすツールモデルを示した。また、研究者が主体となる学术界のみならず現地社会への成果還元もふくめ、宗教実践の変容と持続のメカニズムと地域の動態についての総合的な地域間比較研究にむけての試行となった。

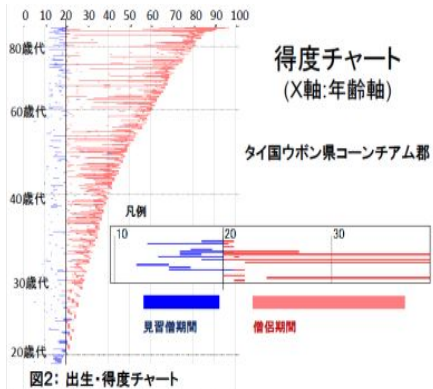


図2

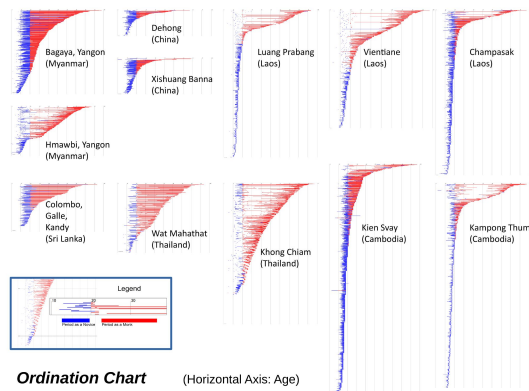


図3

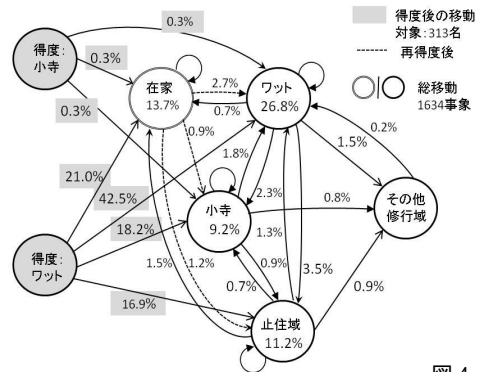


図4

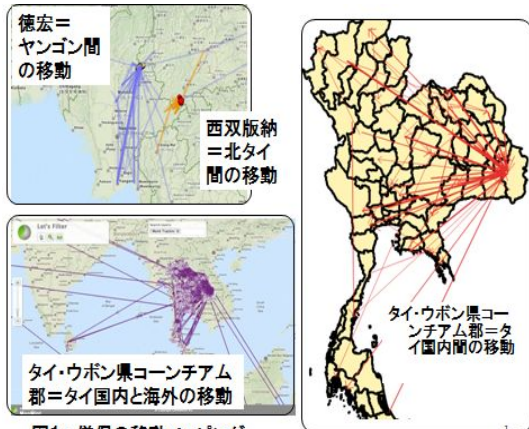


図5

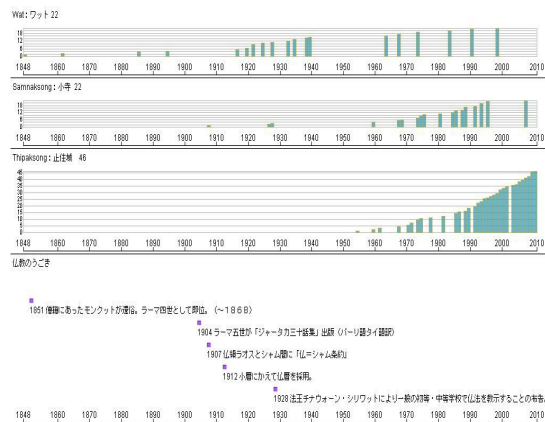


図6

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 27 件)

林行夫、人を結ぶ仏教功德と精霊祭祀の経済、伊東利勝編『功德と喜捨と贖罪 宗教の政治経済学』愛知大学人文社会学研究所、査読有、2018、pp.157 - 201
KURAMOTO, Ryosuke, Monks' Lives Shaped by Food: A Case Study in Myanmar., *Religious Studies in Japan*, 査読有, vol.4, 2018, pp.47-64
長谷川清、文化のグローバル化と祝祭イベントの変容 昆明国際文化旅游節の事例から、『言語と文化』(文教大学大学院言語文化研究所紀要) 査読有、vol.30、2018、pp.1 - 16
笹川秀夫、カンボジア - 内戦の傷跡、復興の明暗、清水一史、田村慶子、横山豪志編『東南アジア現代政治入門[改訂版]』ミネルヴァ書房、査読無、2018、pp.185 - 208
片岡樹、功德がとりもつ潮州善堂とタイ仏教 泰国義徳善堂の事例を中心に、志賀市子編『潮州人 華人移民のエスニシティと文化をめぐる歴史人類学』風響社、査読無、2018、pp.351 - 387
YAMADA, Kyota, Vernacularization of Architecture Planning: Towards Basic Theory for Dwelt Environment Design, in Rajapaksha., Upendra, et al (eds), *Proceedings of the 10th International Conference of Faculty of Architecture Research Unit (FARU)*, 査読有, 2017, pp.361-372
長谷川清、寺院の復興と『功德』のネットワーク 現代中国における宗教実践のダイナミクス、北京大学日本語文化系・北京大学日本文化研究所編『日本語文化研究』北京:学苑出版社、査読無、vol.11、2017、pp.313 - 330
HAYASHI, Yukio, Fission of the Hermitage in search of Dharma: A Case from KC in Northeast Thailand 2006-2014., KOBAYASHI, S., HAYASHI Y. et al. eds, *Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space*. 査読無, 2017, pp.99 - 126
林行夫、タイ仏教徒社会の宗教実践 - 動態の諸相、伊東利勝編『南伝仏教と現代』、査読無、2017、pp.20 - 106
HASEGAWA, Kiyoshi, The Mobility of Buddhist Monks and Distribution of Temples During Rural Transformation in Xishuangbanna Dai Autonomous Prefecture, Yunnan Province, People's Republic of China., KOBAYASHI, S., HAYASHI Y. et al. eds, *Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and*

Space. 査読無, 2017, pp.180-193
SASAGAWA, Hideo, Historical and Geographical Data on Cambodian Buddhist Temples., KOBAYASHI, S., HAYASHI Y. et al. eds, *Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space*. 査読無, 2017, pp.21-48
SASAGAWA, Hideo, Japan's Involvement in Cambodia during World War II., SHIRAIISHI Masaya, Nguyen Van Khanh and Bruce M. Lockhart (eds.), *Vietnam-Indochina-Japan Relations during the Second World War: Documents and Interpretations*. 査読無, 2017, pp.71-83
小林知、重なり合う村落と都市、山本信人・宮原暁編『東南アジア地域研究入門 2 社会』、査読無、2017、pp.45 - 65
KOBAYASHI, Satoru and NOP, Sothun Exploring the prospects for building a peaceful society in Cambodia: A reflection from its past and present., *Exploring Academic Frontiers for a Sustainable Future: Challenges for Japan-ASEAN Research Collaboration*. 査読無, 2017, pp.283-296
KOBAYASHI, Satoru and TAKAHASHI Miwa, A Study of Attributes and Mobility of Monks and Novices in Contemporary Cambodia: With a focus on Rural and Urban Difference., KOBAYASHI, S., HAYASHI Y. et al. eds, *Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space*. 査読無, 2017, pp.49-66
TAKAHASHI, Miwa and KOBAYASHI Satoru, Profiles of Buddhist Lay Ascetics in Cambodia: A Comparative Study of Kampong Thum and Kandal Province., KOBAYASHI, S., HAYASHI Y. et al. eds, *Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space*. 査読無, 2017, pp.67-80
片岡樹、信仰の軸線 東南アジアにおいて『宗教を信じる』とは何を意味するか、山本信人・宮原暁編『東南アジア地域研究入門 2 社会』、査読無、2017、pp.269 - 288
小島敬裕、ミャンマーにおける『パラウン仏教』の創出とその実態について、伊東利勝編『南伝仏教と現代』、査読無、2017、pp.107 - 132
YAMADA, Kyota, Buddhist Practices and Temple Architecture in Urban Sri Lanka., KOBAYASHI, S., HAYASHI Y. et al. eds, *Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space*. 査読無, 2017, pp.197-224
林行夫、境域の東南アジア上座仏教、パーリ学仏教文化学会上座仏教事典編集委員会編『上座仏教事典』めこん、査読無、

- 2016, pp.160 - 163
- 21 笹川秀夫、カンボジア上座仏教、パーリ学仏教文化学会上座仏教事典編集委員会編『上座仏教事典』めこん、査読無、2016、pp.156 - 157
- 22 笹川秀夫、カンボジア仏教の宗派・サンガ組織、パーリ学仏教文化学会上座仏教事典編集委員会編『上座仏教事典』めこん、査読無、2016、pp.158 - 159
- 23 藏本龍介、「食」が形づくる出家生活、宗教研究、査読無、vol.90(2)、2016、pp.29 - 54
- 24 藏本龍介、モラルを超えたモラル：現代ミャンマーにおける仏教の公共的役割についての考察、コンタクト・ゾーン、査読有、vol.8、2016、pp.15 - 28、<http://hdl.handle.net/2433/217892>
- 25 KOJIMA, Takahiro, Script, Text, and Voice: Micro-Regional Connectedness in the Articulation of Palaung Buddhism in Northern Myanmar., YAMADA, Takako and FUJIMOTO Toko (eds), Migration and the Remaking of Ethnic/Micro-Regional Connectedness. Senri Ethnological Studies. 査読有, vol.93, 2016, pp.185-209
- 26 KOJIMA, Takahiro, Tai Buddhist Practices on the China-Myanmar Border., OH Su-Ann (ed.), Myanmar's Mountain and Maritime Borderscapes: Local Practices, Boundary-making and Figured Worlds. 査読有, 2016, pp.369-387
- 27 山田協太、第2章メガシティとその出現経緯 - 第3節 - メガシティの居住環境の進化と共通性・多様性、村松伸、加藤浩徳、森宏一郎編『シリーズメガシティ第1巻メガシティとサステイナビリティ』、査読有、2016、pp.71 - 100

[学会発表](計14件)

HAYASHI, Yukio, "What Japanese Monks observed and considered the Thai Buddhism.", paper presented at Mahachulalongkornrajavidhya, Ayutthaya, Thailand, 28-31 Jan. 2018 (招待講演)(国際学会)

藏本龍介、「律遵守の僧院をつくる：ミャンマー・「森の僧院」の挑戦」、「宗教と社会」学会、於大阪国際大学、2017年6月4日

長谷川清、「村落寺院と文化観光のポリティクス 雲南省シーサンパンナ、タイ族の事例から」、日本文化人類学会第51回大会、於神戸大学鶴甲第一キャンパス、2017年5月27日

長谷川清、「現代中国における仏教復興とビルマ仏 - 1980~90年代を中心に」、韓中日三国日本言語文化比較研究シンポジウム(韓国日本言語文化学会・文教大学・

北京外国語大学共催)、於仁荷大学校(韓国・仁川広域市)、2016年11月12日(国際学会)

HASEGAWA, Kiyoshi, "Restoration of Temples and Cultural Inheritance in Rural Ethnic Communities: A Case of the Dai Lue in Xishuangbanna of Yunnan Province, China.", East Asian Anthropological Association 2016 Meeting, at Hokkaido University (Sapporo, Japan), 15 Oct. 2016 (国際学会)

林行夫、「タイ仏教徒社会の宗教実践 - 動態の諸相」、南伝上座仏教と現代、於愛知大学豊橋キャンパス、2016年10月15日
小島敬裕、「ミャンマーにおける「パラウン仏教」の創出とその実態について」、南伝上座仏教と現代、於愛知大学豊橋キャンパス、2016年10月15日

TAKAHASHI, Miwa and KOBAYASHI, Satoru, "A Comparative Study of Temple Residents in Kampong Thum and Kandal Province, Cambodia: Their Attributes and Mobility.", Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space, at Royal University of Fine Arts, Phnom Penh, Cambodia, 23 Sep. 2016 (国際学会)

TOSA, Keiko, "Monk Mobility in the suburbs of Yangon, Myanmar.", Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space, at Royal University of Fine Arts, Phnom Penh, Cambodia, 23 Sep. 2016 (国際学会)

HASEGAWA, K., "Monk's Mobility and Temples in the Rural Transformation: Xishuangbanna Dai Autonomous Prefecture in Yunnan, China.", Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space, at Royal University of Fine Arts, Phnom Penh, Cambodia, 23 Sep. 2016 (国際学会)

HAYASHI, Yukio, "Fission of the Hermitage in search of Dharma: A Case from KC in Northeast Thailand 2006-2014.", Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space, at Royal University of Fine Arts, Phnom Penh, Cambodia, 23 Sep. 2016 (国際学会)

KURAMOTO, Ryusuke, "Visualizations of Myanmar Buddhism: Monk's Movement and Monasteries in Yangon.", Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space, at Royal University of Fine Arts, Phnom Penh, Cambodia, 23 Sep. 2016 (国際学会)

TOSA, Keiko, "Buddhist Movements, Ma Ba Tha and their Social Background in Myanmar.", AAS-in-ASIA (Association

for Asian Studies), Panel: Understanding Ma-Ba-Tha: Buddhism, customary laws, and women in Myanmar, at Kyoto, Doshisha University, 26 Jun. 2016 (国際学会)

小島敬裕、「現代ミャンマーにおける在家仏教徒の朗誦専門家たち」東南アジア学会第95回研究大会、於大阪大学豊中キャンパス、2016年6月5日

〔図書〕(計12件)

林行夫他(共編) 不二出版、編集復刻版資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流第3期 中国仏教との提携(第6巻・第7巻) 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書4、2017、740

林行夫、京都大学学術出版会、生きている文化を人に学ぶ(情報とフィールド科学5) 2017、69

KOBAYASHI, S. HAYASHI, Y., SASAGAWA, H., and TAKAHASHI, M. (eds.), Phnom Penh: CIAS Kyoto University, Mapping Buddhist Cultures among Theravadin in Time and Space, 2017, 240

山田協太他(編) 東京大学出版会、シリーズ メガシティ 第2巻メガシティの進化と多様性、2016、357

林行夫他(監修) 不二出版、資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流(汎太平洋仏教青年會大会関係資料) 2016、1008

長谷川清他、風響社、民族文化資源とポリティクス 中国南部地域の分析から、2016、504

長谷川清他、京都大学地域研究統合情報センター、積徳行と社会文化動態に関する地域間比較研究 - 東アジア・大陸東南アジア地域を対象として - 、CIAS Discussion Paper No.46、2015、131

小島敬裕、京都大学地域研究統合情報センター、移動と宗教実践 - 地域社会の動態に関する比較研究、CIAS Discussion Paper No.47、2015、127

KOBAYASHI, Satoru et al., Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University, Integrated Development Planning of Landmine-infested Areas in Cambodia, 2014, 81

HAYASHI, Yukio, Center for Integrated Area Studies, Kyoto University and Chulalongkorn University Social Research Institute, Kanprachum sing patibat kan radap nanachat "Mapping Practices among Theravadin of Southeast Asia in Time and Space.", 2014, 185

林行夫、京都大学地域研究統合情報センター、宗教実践を可視化する - 東南アジア上座仏教徒の寺院と移動 - 、CIAS Discussion Paper No.42、2014、143

藏本龍介、法藏館、世俗を生きる出家者

たち：上座仏教徒社会ミャンマーにおける出家生活の民族誌、2014、311

6. 研究組織

(1) 研究代表者

林 行夫 (HAYASHI, Yukio)

龍谷大学・文学部・教授

研究者番号：60208634

(2) 研究分担者

柴山 守 (SHIBAYAMA, Mamoru)

京都大学・国際戦略本部・研究員

研究者番号：10162645

笹川 秀夫 (SASAGAWA, Hideo)

立命館アジア太平洋大学・アジア太平洋学部・教授

研究者番号：10435175

片岡 樹 (KATAOKA, Tatsuki)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究所・准教授

研究者番号：10513517

小島 敬裕 (KOJIMA, Takahiro)

津田塾大学・学芸学部・准教授

研究者番号：10586382

小林 知 (KOBAYASHI, Satoru)

京都大学・東南アジア地域研究研究所・准教授

研究者番号：20452287

高橋 美和 (TAKAHASHI, Miwa)

実践女子大学・人間社会学部・教授

研究者番号：40306478

藏本 龍介 (KURAMOTO, Ryusuke)

東京大学・大学院総合文化研究科・学術研究院

研究者番号：60735091

長谷川 清 (HASEGAWA, Kiyoshi)

文教大学・文学部・教授

研究者番号：70208479

土佐 桂子 (TOSA, Keiko)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号：90283853

山田 協太 (YAMADA, Kyota)

京都大学・東南アジア地域研究研究所・連携助教

研究者番号：40434980